

富山県
神社庁報

かわら版

平成二十年八月三十日発行
 発行所 富山県神社庁
 編集 教化委員会広報部会

神社庁旅行

「美保神社・出雲大社正式参拝旅行」



出雲大社

今年も神社庁の正式参拝旅行に友達六人と参加させて頂きました。一日目は国譲り神話をいまに伝える美保関の美保神社は航海安全とえびす信仰の社です。本殿は大社造りを二棟合わせた比翼大社造りで重文に指定されたものです。素朴で神話が現実生きているような社でした。

二日目は足立美術館。

宮司様にお目にかかれ感激しました。我が「愛宕神社」の揮毫は千家尊福宮司様によるものです。時間がなく娘の良縁祈願をゆつくりできませんでしたが、しつかり「縁結びの御守り」と「しあわせの鈴」を頂いてきました。島根地方では「大社だけでは片参り」といわれるそうで今、出雲大社と美保神社両社お参りすることができ大変幸せに思いました。何よりも六十年に一度の御遷宮に出会えたことは、素晴らしく心に残る旅行となりました。ほんとうに有難うございました。

愛宕神社 岡部紀子 記

横山大観をはじめ千三百点もの美術品を収蔵しており、特に庭園が素晴らしく茶室「寿立庵」は桂離宮の茶室を模したものです。おいしいお抹茶と庭園を拝見してきました。その後松江の小泉八雲記念館、石見銀山へいきましたが、ここは世界遺産に登録されたとはいえ、肝心の銀山を見ることができず、皆さんがっかりした様子でした。いずもまたたの里では店員さんの上手なおしゃべりに乗せられて八月の誕生石が「めのう」ということで主人のネクタイと私のネックレスを記念に買ってきました。玉造温泉「長生閣」は老舗の暖簾にあぐらをかくことなく、夕食後、レーザーと音楽による演出で皆を楽しませてくれたり、川辺にろうそくを灯したりと、とても心に残るもてなしの宿でした。



小泉八雲記念館



美保神社



いずもまがたまの里



足立美術館庭園



石見銀山

全国女子神職協議会

設立二十周年記念大会

参加報告

平成元年に発足以来、女子神職相互研鑽の組織として活動してきた全国女子神職協議会が五月二十八日ホテルニューオータニ東京に於いて設立二十周年記念大会を開催し、本県からは榎原会長以下四名が参加した。物部全女協会長の式辞を始め、久邇神社本庁統理様、鷹司神宮大宮司様等来賓のご祝辞が続き、記念講演では、作家の平岩弓枝先生が「生きるという事」と題してご自身の出会いや別れを通しての体験を話され、その後の懇親会では旧交を温め、盛会裏に終えた。

九里須賀子 記



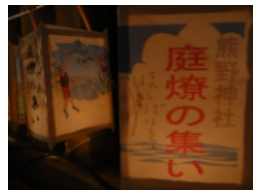
第二十四回

庭燎の集い開催

庁教化委 青少年対策部会

本年は、高岡市熊野神社（宮司宮崎慎一）を会場に、八月二十五日（月）の開催となりました。例年通り、子供たちにあんどん作りや火きり体験・ビデオ上映・楽しいゲーム・雅楽鑑賞を通して、健全な心身の育成をめざしています。

桜井都嘉佐 記



第三十一回お宮さんを描く写生大会開催

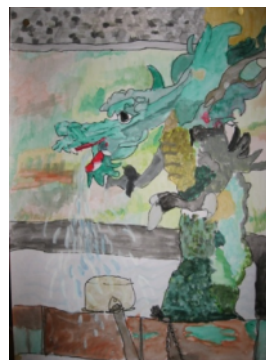
三十一回を数えるこの写生大会も、かなり定着した感があり、本年の作品数は四百十六点が寄せられました。先生方からは、今回は淡いタッチの作品が多かったとの講評をいただきました。

庁教化委 青少年対策部会

桜井都嘉佐 記



神社本庁統理賞
南部中学校2年 小泉友歌里さん



富山県神社庁長賞
放生津小学校3年 白石剛大君



富山県神社総代会長賞
南部中学校2年 久保佑佳さん



富山新聞社賞
堀川中学校2年 丸田葵さん

天皇陛下御即位二十年の慶事にあたり、
奉祝の誠を表す懸垂旗を御社頭に掲げましょう。



※いろいろな掲げ方があるようです。ご参考まで。

第五回「雅楽研修会」開催



去る七月十七日（水）、十八日（木）の二日間、恒例の雅楽研修会を開催しました。講師は明治神宮代々木雅楽会楽長 柴田直宏先生、横浜雅楽会講師 副島昌俊先生に

お願いしました。課題曲は老越調「酒胡子」「胡飲酒破」「蘭陵王」、盤渉調「竹林楽」など、実際の祝祭典に演奏する曲目を中心に研修しました。自己流を矯正し、更なる技術習得に取り組んで、有意義な研修会となりました。

また、第五回の節目を迎えた本年は、「明治神宮代々木雅楽会」若手会員（三名）との交流会も行いました。練習を通してお互いの技量を披露し、懇親会では雅楽という枠を超えて幅広い意見交換をしました。最終日には、参加者全員で神社庁神殿御前に奉納演奏を行いました。研修の成果が発揮された若さ溢れる力強い演奏でした。今後は当方からも明治神宮へ出向き、稽古をつけていただきたいと考えています。そのためにも、今から練習に励み、レベルアップに努めたいと思います。

藤井秀嗣 記



浦安の舞講習会開催

庁教化委 研修部会

去る平成二十年八月四日から七日迄、恒例の浦安の舞講習会を射水神社参集殿に於いて開催いたしました。初級者講習は四日・五日の二日間、篠原俊栄・河合寿美子両先生に指導頂き、小学生から現役巫女を含め十四名が受講しました。指導者講習は、五日から七日の三日間、神社音楽協会講師の先崎径子先生を迎え十七名が受講しました。

横越正照 記



ワンポイント 祭式 講師 河合正登
神職にとって最も大切な祭祀の厳修。日頃の神明奉仕は正しい作法で。

敬礼編一 揖
小揖・深揖の際、笏を持つ手は身体につけその位置は凡そ臍の辺り、笏頭が身体から離れすぎないように。
（女子は扇を身体につける）
※注意（図2）

：：笏が前に倒れたり、手の位置が低くならないように。



図1



図2